

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

平成31年 **4月20日(土)**

時間：10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)



講師：心理相談室アシスト

代表・臨床心理士 岡本 克己 氏

テーマ：「世間話なら乗ってくるけど、将来の話になると
部屋に籠ってしまう。どうしたものか・・・？」

===3カ月で何とかしたい。=== ①ご本人をよく知ろう

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：就職や仕事に悩みのあるお子さんを持つご家族の方

定員：20名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

※岡本先生のセミナーは3回シリーズで実施します

【講師紹介】

現在、心理相談室アシストを開設し、
心理カウンセリングを行っています。

個人療法中心から集団療法の併用
への移行、認知行動療法や動機づけ面
接法、ひきこもり家族支援 CRAFT など
スキルを積極的に取り入れた支援を展
開され、相談者の症状改善に関わって
います。



日時：平成31年2月16日(土) **2月開催のセミナーレポート**

テーマ：「親の目、子の目」

講師：特定非営利活動法人 えちぜん青少年自立援助センター

就労支援センターすてっぴ 施設長 西出 厚子 氏

越前市で若者の支援をしている西出さんに、その経験から感じていることを話していただきました。学校にいけない子で義務教育を終えた子が、家以外で外に出られる場所としてフリースペースを、またその先のことを考えて、就労支援センター「すてっぴ」を始めたそうです。紹介の事例では、人の中に入ることが苦手な子に、望んでいることは何か質問したとき、ほとんど親が先に言ってしまったそうです。親の道筋にのせること自体に問題はないが、途中で辛くなってしまう子がいます。親としてこうしたいという気持ちはわかるが、本人の意思や決定が大切で、まず本人に経験させること。親はそのフォローをすることで自信が付くといいます。子どもの勉強が出来るという面ばかりに目をやるのではなく、人との関わりの中でできていないことや、その理由にも目を向けること。本人が苦しい時、なんか発信していることを親としてキャッチし、どう対応するか。本人と一緒に何かをしながら、その時の気持ちを聞いたり、家での役割を与えて「助かっている」と言葉にしたり、本人の今を認めることの大切さを話されました。また、必要に応じて、受診をして特性を本人も親も受け入れることで、一歩が踏み出しやすくなることを説明されました。後半は、参加者の皆さんからの感想、質問を聞きながら、親自身が必要と感じたら、遠慮なく相談してほしいと西出さんはメッセージを送っていました。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション (サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL: 0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com